

前立腺肥大治療剤(α1遮断薬)桜ヶ丘院内フォーミュラー ※1

		第一選択	第二選択
医学的区分	前立腺肥大症に伴う	タムスロシン OD錠	シロドシン OD錠 ナフトピジル OD錠
	排尿障害※2		

※1参考ガイドライン:①男性尿路症状・前立腺肥大推奨ガイドライン②夜間頻尿診療ガイドライン第2版③過活動性膀胱診療ガイドライン第3版④高齢者の安全な薬物療法ガイドライン、各薬剤有効性の明らかな違いはなく個人差が存在する、各ガイドラインでの推奨グレードが高く血圧低下の副作用・臨床試験の数、エビデンス量、利便性を考慮しタムスロシンを第一選択とした。シロドシン、ナフトピジルは副作用発現率、利便性、エビデンス量等を考慮し第二選択薬とした。その他の選択薬としてウラピジルを選択する ※2女性の下部尿路症・高血圧の推奨は除外

2023年6月発行

α1遮断薬 概要

採用薬名	タムスロシン OD錠0.2mg「VTRS」	ナフトピジルOD錠50mg「ケミファ」	シロドシンOD錠4mg「DSEP」	エブランチルカプセル15mg(先発)
一般名	タムスロシン	ナフトピジル	シロドシン	ウラピジル
採用区分	院内・院外	院内・院外	院内・院外	院内・院外
採用規格 薬価(1錠)*1	後発医薬品 0.2mg 34.7円	後発医薬品 50mg 16.7円	後発医薬品 4mg 16.0円	15mg 15.8円
用法	1日1回	1日1回	1日2回	1日2回
前立腺肥大症用量	1日0.2mg から開始し適宜増減 高齢者は0.1mgより MAX 1日0.2mg	1日25mg から開始(高齢者は12.5mg) 不十分時は1~2週間の間隔を置いて 50~75mgまで漸増 MAX 1日75mg	1回4mgより開始	1日30mg、不十分時は1~2週間の 間隔を置いて60~90mgまで漸増 Max 1日 90mg
経管投与	可	可	可	可
用量規定因子	—	—	肝障害患者は2mgより開始	肝障害患者は15mgより開始
腎機能による調整*2	低腎機能の場合は少量から開始(特に高齢者)			—

*1:2023年6月時点 *2腎機能別薬剤投与量 第3版 じほうより